

2025 ズバリ! 的中



世界史

東京大学

イエルサレムの地図をもとに解答を考察する問題で
同一の地図が出題

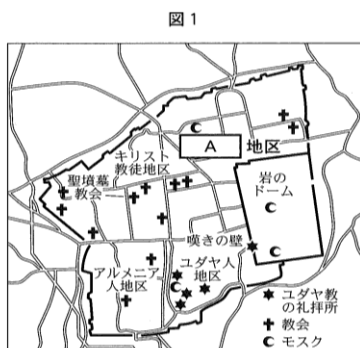
入試問題

前期日程
第3問 問(4)・問(5)

第3問

歴史のなかで都市は、政治や経済あるいは軍事の中心地となっただけでなく、文化の融合や発信の基地としても機能した。このことに関する以下の設問(1)~(10)に答えよ。解答は、解答欄(ハ)を用い、設問ごとに行を改め、冒頭に(1)~(10)の番号を付して記せ。

問(4) 次の図1は、19世紀のある都市の多宗教共存の様子を示したものである(一部改変)。歴史上、この都市は外部からの襲撃にもさらされてきた。紀元前6世紀には、新バビロニアの王によって攻略され、住民はバビロンに連行された。新バビロニアを滅ぼして、連行された人々を解放した王朝の名称を記せ。



問(5) 図1の の人々にとって、この都市は第三の聖地である。
 の人々にとって最も重要な聖地である都市の名称を記せ。

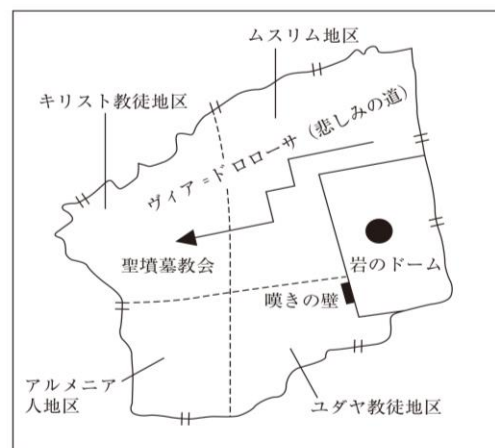
河合塾

直前講習 東大世界史テスト
第1講 第1問

第1問

以上のことを踏まえて、前6世紀から紀元後7世紀までにおける3つの一神教の成立過程と帝国との関係について、具体的に記述せよ。解答は、解答欄(イ)に20行以内で記述せよ。その際、次の6つの語句を必ず一度は用いて、その語句に下線を付すこと。また、続く史料はイエルサレム旧市街地区の地図である。それぞれの宗教と結びつく場所を1箇所挙げて、例えば「○○(地図の××)」や、「○○の時代に、地図の××が建てられ～」などといった形で論述内容の事例として、それぞれ必ず一度は用いよ。

救世主 クライシュ族 新バビロニア
属州 ビジャーズ地方 ミラノ勅令



地図

(注) 岩のドームは7世紀末に建てられた。ムハンマドが昇天した場所と伝えられる。